

認定NPO法人



四葉のクローバー

事業報告書 2023年度



運営理念

強く、優しく、くじけず、
あなたが自分の命と
心を守っていけるよう
私たちは家族同様見守ります

基本方針

- ①安全基地の提供（癒しと送り出し）
自立していく子どもたちの実家づくり
- ②成長、自立していく機会の提供（失敗してもいい居場所）
子どもを受け入れて、その子なりの自立を援助する
- ③最後の砦として、子どもたちの自立の援助する場



四つ葉のクローバーは、

2013年に児童養護施設退所者や

社会的養護の必要な

児童・若者を対象としたシェアハウス事業

(住宅支援・生活支援) からスタートしました

ご挨拶

「施設があったからこそ生きてこれた」「家にいたら絶対に行けなかつたろう旅行や映画にも行けた」「施設を出たあと、困りごとの相談電話をしたらもう少し我慢できませんか・・・と言われて施設の職員さんも仕事に追われて大変なんだろうな・・・と思った」

これらの言葉は11月に滋賀県で開催されました日本虐待防止学会で「当事者参画のモヤモヤとこれから～ インケア（入所中の子どもたち）・ユース（卒業生の若者たち）の声をどう受け止めるか」で約40人のユースが伝えた言葉です。（13ページ上段に詳細あり）シンドさを抱えたユースが施設の大人を慮る発言に涙が出そうになりました。施設や里親など社会的養護を経験した若者、支援されることもなく家庭でシンドさを抱えたまま社会にでた若者。それぞれの過去と今があります。伝えたいことがあります。施設にいたことを抹消したい若者も幼少期の辛い記憶を伝えられない若者もたくさん存在します。

社会的養護経験者も経験者でなくても利用できる居場所。それがマザーボードになります。2020年に故平和堂財団会長の夏原平和氏が「施設を出たあとに帰れる実家のような場所はあるの?」と聞いてくださったことがキッカケとなり滋賀県子ども青少年局と滋賀県社会福祉協議会等と協議を重ね「滋賀ならではの地域養護推進協議会」が発足した経緯があります。（マザーボード2階での取り組みは9～12ページに詳細あり）

児童福祉法の改正により社会的養護支援は原則18歳で支援打ち切りが撤廃されました。（自立援助ホームでは20歳）上限が撤廃されたとはいえ、施設出身者は誰でも利用できるというのではなく「社会的養護自立支援事業の年齢制限が弾力化されたもの」です。四つ葉のクローバーの仕事のメインは「自立生活援助事業と退所後ケア」です。どんな仕事も「大人が楽しまない子どもやユースに心配をかけてしまうこと」「制度」だけで人を支援することはできません。人として関わり続けていくことが大切だと思っています。皆様の温かいご支援と眼差しに心より感謝いたします。

理事長 杉山 真智子



法人のあゆみ

おかげさまで10周年

- 2014年
- ・クローバードリームライブ2014開催
 - ・就労支援「餃子屋 竹の子」(現在終了)
施設中学生の職場体験を実施
 - ・四つ葉のクローバー1周年記念イベント開催

- 2015年
- ・就労支援「餃子屋 竹の子」
施設高校生アルバイト受け入れ

- 2013年
- ・NPO法人四つ葉のクローバー設立
 - ・シェアハウス事業スタート
 - ・設立記念フォーラム開催

- 2017年
- ・生きるカセミナー開催
 - ・四つ葉カフェ事業スタート(現在終了)
 - ・四つ葉のクローバー3周年イベント開催
 - ・クローバードリームライブ2017開催

- 2016年
- ・認定NPO法人認可
 - ・自立援助ホーム認可
 - ・就労支援「餃子屋 竹の子」
就労が困難な若者に中間的就労の場を提供
 - ・クローバードリームライブ2016開催
 - ・四つ葉のクローバー3周年イベント開催
 - ・「フリースペースあす架スタート」(現在終了)

- 2018年
- ・外部相談窓口開設 四つ葉カフェ内(現在終了)
 - ・四つ葉キッチン(現在は若者食堂)
月1回養護施設出身者等に対する定期的な食事を開催
 - ・クローバードリームライブ2018開催

- 2019年
- ・クローバードリームライブ2019開催
 - ・ステップハウス事業スタート
 - 自立支援の一環として一人暮らし体験の場を提供
 - ・「餃子屋 竹の子」県内施設イベント出店
 - ・夏休み企画! ギョーザづくり体験
 - ・里親ファミリーホームの子どもたちの餃子作り体験
 - ・公益社団法人社会貢献支援財団『社会貢献賞』表彰

- 2021年
- ・就労体験プログラム実施(退所者対象)
 - ・緊急シェルターの提供(退所者対象)
 - ・滋賀県地域擁護推進協議会との連携開始

- 2022年
- ・「希望の学び舎」開始
 - 学習支援・資格取得支援の実施
 - ・内閣府『女性のチャレンジ賞』受賞

- 2023年
- ・認定NPO法人四つ葉のクローバー設立10周年記念
クローバードリームライブ2023開催
 - ・児童養護施設等高機能化 多機能化モデル事業
「よつばLABO」スタート
 - 自分らしく学べる場所 自分らしさを作り出す場所
 - ・日本子ども虐待防止学会 滋賀大会 シンポジウム実施
 - ・みんなの声をきかせてシンポジウム開催

三施設長ご挨拶

シェアハウス夢コート

地域の皆様にはシェアハウス夢コートの活動にご理解をいただき、入居の若者等への暖かいご支援をありがとうございます。
ご周知のように、四つ葉のクローバーは、今年度開設11年目を迎え、新たな援助ホーム「奏kanade」と「碧aoi」の2施設を開設することになりました。

3年前（2021年度）に男女混合の援助ホーム「夢コート」の三代目施設長をお引き受けした時は、定員9名でしたが、新たに2施設が加わり20名の若者たちが、四つ葉の其々のホームで自立に向けて生活することになりました。入居の条件は「利用者同士また利用者とスタッフが共同して生活する場である事を理解し、お互いが安心安全な生活環境を創り上げること」です。日常の安心・安全な生活を求めて入居する若者たちに、揺るがない信頼という忍耐と職責への気持ち・考えを携えたスタッフ等が、寄り添い続ける支援を実践していきたいと思っています。

杉山理事長をはじめ3施設長の連携を強化し、多勢となったスタッフ間の連携環境を整え、若者たちの現在（今）の生活を支え、彼ら自身が描く未来（これから）を支援していきたいと思っています。

入居の若者たちが日常生活で地域を身近に感じ、ホーム退所後に地域に溶け込むには、地域の皆様の暖かい眼差し・ご支援が不可欠です。これからも四つ葉シェアハウスへのご理解・支援をよろしくお願い申し上げます。

施設長 森本 美絵



シェアハウス奏kanade

私ども特定非営利活動法人四つ葉のクローバーは、その事業の中核として守山市に自立援助ホーム「シェアハウス夢コート」を運営してまいりました。そこでは虐待などの劣悪な生活環境に晒されてきた若者たちに社会的養護の環境を整え、安全で安心な生活の場を提供出来るよう努力を重ねてきております。

さて、このような経験を踏まえて、当法人はこの度本年3月より新規2ホームを津市内に開設することとなりました。膳所地区には女子向けの、坂本地区には男子向けの併せて2ホームを設置いたしました。私、宮脇宏司は、このうち男子向けの自立援助ホーム「シェアハウス奏kanade」の施設長を勤めます。

私は長年にわたり心理援助業務を専門として多分野で仕事をしてきました。当法人の事業にも関連する業種ですが、そこでは困難や苦悩を抱えた人の心の状態を治す・変えることに役立つ社会資源であろうとすることが主でありました。一方、この奏kanadeはそのような社会資源とは趣が異なる役割を担うものです。

暮らしの中の安全安心が保たれていることは、落ち着いて自分を確かめ直す機会を促すでしょう。取り巻く人たちの暖かい眼差しは、努力やチャレンジに連なる彼らの主体性の芽吹きを支えるものでしょう。関係する皆様のお力を借りながら、そのように彼らの自立的な暮らしの可能性が拓かれていくよう取り組んで行きたいと職員一同こころしています。このような奏kanadeの活動に対し皆様からの様々ご助言やご指導、ご支援ご協力が頂けるものと信じ期待しております。どうか、当ホームを利用する若者たちの現在～未来にお力をお貸しいただけますよう、衷心よりお願い申し上げます。

施設長 宮脇 宏司

シェアハウス碧aoi

自立援助ホームの設立に関わることで好きな野球を楽しむために対戦相手と空き地を探すことに奔走した子どもの時を思い出した。

凡打であっても全力疾走してエラーを透ったり、勝つための犠牲バンドは論外で皆がホームランを狙ってフルスイングをする。

大人たちは指示や指導を控えて、子どもたちによる子どもたちのための自由奔放な野球をただ見守ってくれた。

今思うと空き地は子どもたちの自主と自由が許された社会であり、棒切れで書いたホームベースは歪んでいても自分と他者の存在やルールを知るための共有の指標であった。

今春から大人の経験がない子どもたちと、子どもの経験をし尽くした大人たちが新しいホームで対話を重ねながら生きる力を育んでいく。

主審の「プレイボール」を合図にできるだけ多くのバッターボックスに立ち、夢や希望を競い磨きあって欲しいと期待している。

好球必打！好きな球が来たら迷わず振り抜こう。

施設長 久保 憲二



児童自立生活援助事業 自立援助ホームの運営

自立援助ホームとは、何らかの理由で家庭にいられなくなった若者が自立に向けた準備・練習をする施設です。これまで原則15歳から20歳(状況によって22歳まで)の若者が利用する施設でしたが、児童福祉法改正法により令和6年4月から年齢制限が撤廃され、自立支援が必要と判断する間はホームに入所することができるようになります。

シェアハウス夢コート

守山市／定員男女9名

2013年から2023年までに計40名の若者が入所し、自立のために生活を積み上げてきました。



シェアハウス奏kanade

【2024年3月開所】

男子ホーム

大津市／定員男子5名



シェアハウス碧aoi 【2024年4月開所予定】

女子ホーム

大津市／定員女子6名



各ホーム、タイムスケジュールはありません。高校生、大学生、社会人が入居する中で生活リズムや帰宅時間がバラバラなため、夕食も各自のタイミングで食べることができます。

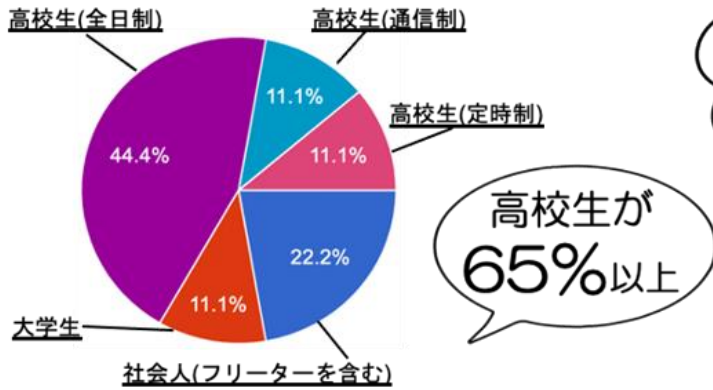
リビングに行けば誰かおとながいる、気軽に相談できる、そんな環境を大切にしています。

個室にはベット、勉強机
洋服チェスト・ラック、
エアコンが備え付けられており
各部屋施設可能。
若者個人のプライベート空間を
確保し、大切にしています。
利用料は3万円です。



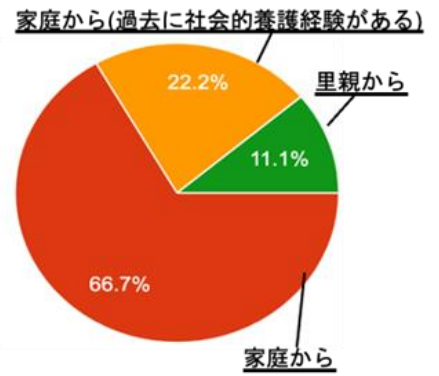
2023年度に入居している若者の現状 (シェアハウス夢コートの場合 3/1時点)

◎区分



家庭から入所
約9割

◎入所経路



Voice ~入居者の声~

Q1) 四つ葉に来て生活は変わりましたか？

A1) 「前より自分を知れた。良いところも悪いところも」「家にいる時間が増えた」
「通学距離が長くなって欠席日数が増えた。」
「寝込むことが多かったが、絵を描いたり、動けるようになった」

Q2) 四つ葉での思い出はありますか？

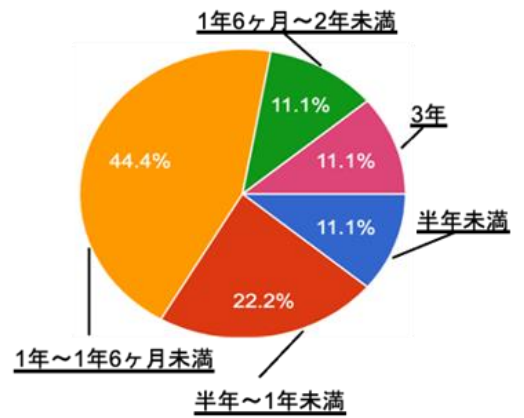
A2) 「スキーに行ったこと。めっちゃ楽しかったです」「四つ葉メンバーでスキーをしたこと」
「誕生日にオムライスを作ってもらった」
「真夜中会議でみんなで遊びに行って帰りに王将に行ったこと」



Q3) これから挑戦したいことはありますか？

A3) 「漢字能力検定2級に挑戦したい」
「自分をよく知って長所を伸ばす」
「大学に合格したので大学に通うこと」
「副業」

◎入所期間



食事提供 朝食・昼食：月～金曜日／夕食：月～金曜日＋日曜日



入居者に聞く！『好きなメニューは？』

トマトサラダ

鶏のみぞれ煮
あー、わかるわー

オムライス

チキン南蛮

全部おいしいけど、..

いちごのスイーツ

たこば

蒸し鶏ときゅうり



Voice ~調理スタッフの声~

今年度からメニューに行事食を取り入れたり、料理の最後の仕上げを入居者と一緒に行ってみるなど、食育にも力を入れ始めました。入居者から「美味しいです。」「おかわりありますか？」「また作って下さい。」などの声を貰うと、やりがいを感じます。調理中や食事時の、入居者との何気ないコミュニケーションを通して、彼らにとって安全で安心できるような場を作れたらと思います。(スタッフS)

全員が食に興味があるわけでもなく、中には興味がない若者がいます。食生活は大切なので調理スタッフはバランスよく、おいしく作っているので楽しんで食べてほしいです♪好き嫌いはあると思いますが、嫌いなものもある日突然好きになって少しずつ食に興味を持ってもらえたらと思います。(スタッフY)





真夜中会議

月に1回、真夜中会議を開催しています。ネーミングのきっかけは、当時入居している若者たちで問題が起こった際、全員が集まるために仕事や塾などの帰りが遅い仲間を待ってから始めたことがきっかけです。

一人暮らしをする時に知っておいた方がいいこと、若者に身につけてほしい知識、若者が話したいことなど、毎月テーマを決めて開催しています。普段ご飯の時間を決めていない分、みんなで食事をするという真夜中会議の時間も大切にしています。



美味しいご飯がいっぱい出てきます♪



10月真夜中会議の様子

真夜中会議の内容を一部ご紹介♪

◎6月 ～一人暮らしを想像しよう 暮らし編～
一人暮らしをするためにはどれだけのお金が必要になるのか、「暮らす」ことに重きを置いて、家賃、インフラ料金、その他の生活費に分けて知る機会としました。

◎7月 ～税金や保険について知ろう～
社会に出た時に税金や保険を支払う必要があるという心づもりがあるだけで、心の余裕に繋がると考えています。まずは知ること目標に若者と共有しました。

◎8月 ～ワークルール出前講座～
滋賀県労働委員会の方を講師に迎え、働く上での基本ルール（ワークルール＝労働法）について知りました。困った時にはすぐに周りの大人に相談することを共有しました。

◎10月 ～デートDV & 避妊について～
辻由起子さんと神保ゆうこさんを講師に迎え、デートDVや性教育について学びました。「それって大丈夫？」と一度立ち止まって考えることが大切でということ共有しました。

◎12月 ～みんなでゲームをしよう～
11月の真夜中会議で「来月はクリスマスやからみんなでゲームやりましょ」という若者の声が聞こえました。そんな声にお応えしてみんなでSwitchをして盛り上がりました♪

一般財団法人篠原欣子記念財団様より 助成金をいただきました！



<若者の声>

- ・とても楽しかったです。筋肉痛ひどかったです。企画してくださりありがとうございました！
- ・初体験で未知の快感。
- ・みんなでいい思い出を作れた。
- ・滑れるようになったからとても楽しかった！
- ・リフトから降りるのが難しくて思い切り転倒してしまったけれど、それも含めて楽しかったです。

遠足を企画しました。
聞き取りをおこなった結果、ウィンタースポーツをやりたいという声が多く、2回に分けてグランスノー奥伊吹に行ってきました！

入居する若者7人が参加。
小学生以来というひと、初めてやるひと、
大きくなってなかなか行かない貴重な経験ができていい思い出になったと思います♪



助成金をいただきまして
本当にありがとう
ございました♪





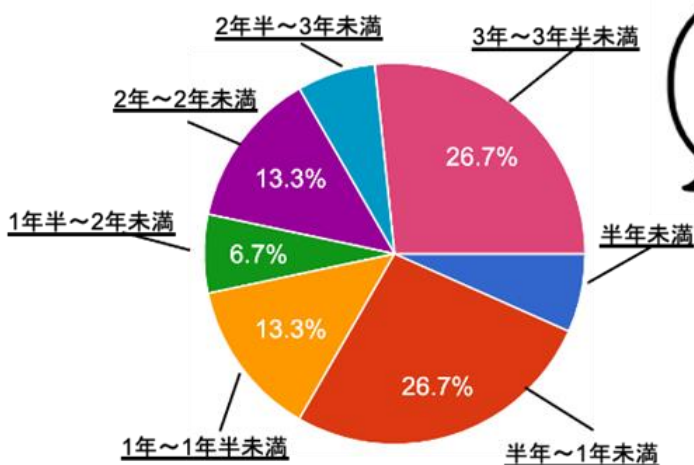
ホームには10代後半まで適切な養育環境で生活できていない可能性がある若者が多く入所します。虐待を受けた若者の多くは、安心できる環境に移ったからといって安定するわけではありません。虐待の影響によるトラウマ反応や精神的な崩れなどが起こり、日常生活を送ることが困難になるケースも少なくありません。

当ホームの平均入所期間は1年8ヶ月(図1参照)となっており、彼らはホームにずっとは居られないという現実と向き合い、短期間の中でもがいています。

入所中と退所した後の生活のギャップをできるだけ小さくし、自立の力と自信を付けるためにステップハウス事業を行っています。

図1) 卒業生のホーム入所期間

* 2019年度(R1年度)から2023年度(R5年度)の間に退所した者が対象



Voice

～ステップハウスを利用している若者の声～

- Q1) ステップハウスの利用期間は?
A1) 8ヶ月
- Q2) ステップハウスで生活していて大変だったことは?
A2) 家事と自炊が大変でした
- Q3) ステップハウスで生活していてよかったこと、うれしかったことは?
A3) 1人だから気楽だった
- Q4) ステップハウスで生活してできるようになったことは?
A4) 料理が上手になった気がする
- Q5) 一人暮らしに必要なと思うことは?
A5) 金銭管理



ステップハウス事業は、
・令和5年度 赤い羽根共同募金「滋賀の町を良くするしくみ」助成事業
・ソフトバンクチャリティスマイル 第7回「安心して社会に巣立とう」応援助成からの助成を受けて行っています。

アフターケア事業

退所した若者たちに引き続きアフターケアとして『生活相談』『就労相談』『同行支援』などのサポートを行っています。退所後の若者たちが困った時に「困っている」とSOSを発信する相手がいることで、問題の早期発見や状態の悪化を防ぐことができると考えています。公的機関など普段から繋がりが無いところへ若者たちが自分でSOSを出すことは非常に難しいため、繋ぎ役としてアフターケア職員が存在し、関わりを途切らせないことで本人の更なる自立をサポートしていくことが必要だと考えています。



生活相談／支援



就労支援



場づくり



助成金情報

2023年度アフター実績：LINEでのやりとり49件、関係機関対応18件、対面支援80件、電話支援57件、同行支援7件（2023年3月現在）



退所した若者と食事を行ったり、お出かけをすることもあります

シェアハウス夢コート 利用人数の推移

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
新規入所者	3名	2名	2名	4名	4名	6名	2名	5名	3名	6名	4名
利用者 ^{*1}	3名	5名	7名	10名	7名	11名	8名	10名	11名	13名	11名
退所者	0名	0名	1名	7名	2名	5名	3名	2名	4名	6名	1名

*1：年度内に利用した若者の総数

Voice ～2022年度に退所した若者の声～

- Q1) 退所してもうすぐ1年。この1年を振り返って何か変化はありましたか？
A1) 一人暮らしなので全ての家事を自分でしないといけなくなった
- Q2) この1年で（または現在）、困ったことがあれば教えてください
A2) まともに料理をしてこなかったので自炊メニューとか献立に困った。
- Q3) 困った時、誰かに相談しましたか？
A3) 書類関係で困った時は四つ葉のスタッフに連絡したり、直接電話をかけて聞きました。
- Q4) 対処前に知っておきたかったことがあれば教えてください
A4) いい引越し業者
- Q5) アフターとしてこんな情報が欲しい、こんな支援が欲しいなどあれば教えてください
A5) おすすめの主菜・副菜レシピ

入所中は「早く出たい」と言っていた彼女も、退所して何度か顔を見せて帰ってきてくれており、ホームで暮らしていた時のあれこれを懐かしく感じるとともに今彼女らしくがんばっている姿にうれしい気持ちでいっぱいです。



居場所支援事業 マザーボードの取り組み



滋賀県社会福祉協議会、滋賀県児童福祉入所施設協議会、滋賀県子ども青少年局等と協議を重ね、「滋賀ならではの地域養護」児童養護施設等を退所した若者を地域で支える「地域養護推進協議会」が2021年4月に発足しました。四つ葉のクローバーでは、「若者食堂」を企画し開催したり、2022年から「希望の学び舎」をスタートさせるなどさまざまな活動を行っています。



公園に出かけて桜を見たり
一緒に季節を感じます



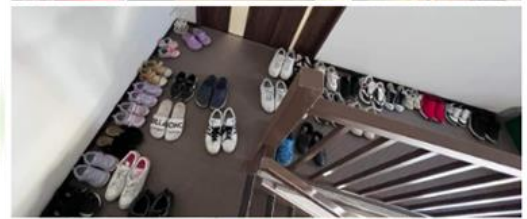
餃子は人気メニューです
若者と一緒に包んでくれる時もあります



ギターの音色も聞こえます
自然と若者同士の交流が生まれます



幼児、小学生、高校生、若者と年代が幅広く
若者食堂にはたくさんの方がやってきます♪



ドリームライブ2023の
お手伝いもしてくれました
ありがとう



中道農園様にご協力いただき
農業体験をさせていただきました



ご寄付でいただいたタコを使って
たこ焼きパーティーもしました

『家でも職場でもない「自分」でいられるサードプレイス』



毎月最終土日に「若者食堂」を開催しています。若者食堂には社会的養護出身者だけでなく、その家族、地域で暮らすしんどさを抱えている者などたくさんのひとが来てくれます。

「希望の学び舎」ではパソコン教室やニーズに応じた勉強会などを開催し、学ぶ機会を提供しています。他団体とのコラボを交えながら、さまざまな経験を通して若者自身が多くの人と出会い、よりよい人生になることを私たちは願っています。



ご寄付いただいた近江しゃもで
すき焼きをしました♪

若者が自分たちで考えた「夏の旅行」
みんなでトランプもしました



琵琶湖を満喫！
釣りたてのアユもいただきました♪



＜開催場所＞
守山市守山6丁目10-68
マザーボード2階



本格的な中華パーティー
プロ並みのスタッフの腕
若者もみんな大喜びでした



毎年くださるクリスマスケーキ
四つ葉応援団の存在に感謝です



お楽しみのクリスマス会
たくさんの若者や子どもたちが来てくれました





2023年度からスタートした「よつばLABO」
社会的養護の若者という枠を超えて、
様々な環境で生きる若者たちの交流と
学びの場として活動しています。

よつばLABOの特徴は、
芸術（アート）と、学習（スタディ）の
二本柱であることです。
芸術活動を通じて自分の好きなことや
得意なものを見つけたり、将来のための
勉強（教科学習）をすることができます。
資格取得やITの利活用といった、
実学教育も行っています。

泣いたり、笑ったり 等身大の「私」に触れる、よつばLABO

普段はアルバイトや学校に忙しい若者たち。
自分は、将来どうしたいのか、どうすべきなのか。
各自が置かれた環境は違いますが、自立に向けて悩む姿は共通です。
「将来」という、多様な可能性が開かれているようで、実はそうではない。
経済的な環境や自身の能力を考えれば考えるほど、結論が出ない。
「自分には、何が向いているんだろう？私は、今何をすべきなんだろう？」と、
一生懸命に悩み、その都度考えて結論を出し、前に進んでいく若者の姿が見られました。



「普段出会わない人と出会えて、世界が広がりました」

社会的養護であるか、そうでないかを問わず、おおむね30歳までの若者が利用できるよつばLABO。
普段の生活で会ったり、話をしたりしない人とも知り合えて、世界が広がるという感想が聞かれました。
若者たちは、「抱える苦しみや、困難は各自で違ったとしても、今を一生懸命生きているということは
同じなんだ」ということに、自ら気が付いたようでした。
学びという共通目標に向かって、ともに頑張る姿勢は、置かれた立場や環境を超え、新しい未来を創って
いく力となるでしょう。



ハロウィンに向けて巨大制作
をしました。あの人気アニメ
キャラクターたちを制作！
画用紙を貼り合わせて作った
等身大の掲示物です。
ハロウィン後は11月18、19
日
に行われた市民活動フェスタ
にて、当法人の活動展示と共
に掲示しました。

「年越しだけは誰かと一緒にいたい」
彼らの願いが叶いました。
10人の若者がおせち料理に挑戦。
スタッフのおばあちゃんがおせちを若者に伝授し
てくれました。
仲間と過ごし、初詣、おせちをいただいたことは
若者たちの思い出作りになったことでしょう。

「自分でエッグマフィン
を作りたい！」
というリクエストがあ
り、急遽始まったクッ
キングタイム。
LABOでは若者自身が
料理する機会も多くあ
ります。



好きなことを極める、好きなことを見つける【芸術活動サポート】

学校では、部活動という形で好きなこと（趣味など）ができますが、学校を卒業すると趣味をする余裕がなければなかなかできません。よつばLABOでは芸術活動に力を入れて取り組みました。好きなことを見つけたり、取り組んだりすることで、自分の内面と向き合う機会になります。実際に、思うままに絵筆を走らせたり、写真を撮ったりすることで、「心が落ち着いた」とか「自分は絵を描くのがやっぱり好き。」という声が聞かれました。本年度は、絵画、写真、陶芸、歌唱などの講座を実施しました。好きなことを、好きだと言える豊かさ。得意なことに出会い、自分自身と向き合い、認める喜び。展示会を通じて、自身の作品を他者へ発表することも出来ました。



仕事につなげる 仕事をつくる【就職・起業サポート】

生活していくための仕事。とはいえ、一生の中でかなりの時間を費やすのも「仕事」です。若者たちが、自分にあった仕事に出会ったり、仕事を通じた自己実現を考えるのが、「就職・起業サポート」です。年間を通じて、社会で活躍中の講師をお招きし、講座を実施してきました。

よつばLABOで開催した様々なイベント

生活に役立つ算数講座

※加算料・オンライン配信併用

よつばLABO 特別授業 講演会
子ども家庭庁「令和5年度児童発達支援等高度化・多機能化モデル事業」採択事業

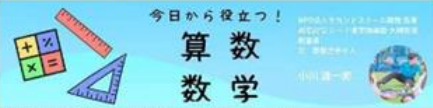
「生活に役立つ算数スペシャル」

2023年10月14日 10:00~15:00(軽食付)

算数ってめんどろ！なにに使うのかよくわからない！という方のために、役に使えるのかをご紹介します。イベントです。「これって、数値なの？」と悩むくらいに、気楽に楽しい算数講座です。

- リアル会場: マザーボード 5-524-0022 道真県守山市民山6丁目10-68 2F
- オンライン: YouTubeLIVE(限定リンクのため、お申込みされた方のみお伝えします。)

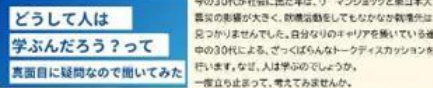
1限目 10:00~11:00 小学校の算数は使える！



数学を見るだけでストレス 誰のために算数をがんばるかわからない！
という方のために、「元 算数苦手な人」である小1先生が、普段の生活で使える算数を伝えます！

2限目 13:00~15:00 トークディスカッション

なぜ勉強するのか？学んで何？根本的な問いをみんなで考えてみよう！



申し込み-問い合わせ先
都道NPO法人よつばLABO 企画担当 井手清香

リアル開催は申し込み不要です。直接会場までご来場ください。
オンライン参加の場合は s.ide@yotubanokureba2013.com までお名前、所属をご記入の上メールをご返信ください。申し込み、メールで返信先アドレスをお知らせします。24時間以内はメールの返信がない場合は、070-5501-8525(TEL)までお電話ください。

信楽焼作り体験



作品展で展示しました♪

写真撮影体験



ハーバリウム資格取得講座



漢字アート
ポイトレ講座

よつばLABO Instagram



@YOTUBALABO



2024年
1月
26日(金)
27日(土)
28日(日)
2月
23日(金・祝)

みんなの「こえ」をきかせてワーク第二弾

昨年11月に開催された子どもと若者防犯学習大会での「みんなのこえをきかせてワーク」では、参加した若者たちから、実際に防犯の話をたくさん聞かせてもらい、それを基に各自治体の社会福祉協議会の方々に伝えることができました。
そこで今回、大野原につき、みんなのこえをきかせてワーク第二弾を開催することになりました。若者たちの声を大切に、そして子どもたちも興味を持ち、地域全体で支え合っていきたいと思っています。みんなが大事に声を聞かせてほしい。お楽しみにしてください。

前夜祭
1月26日(金)
17:00-23:00
おしゃべり会

ワーク
1月27日(土)
11:00-17:00
おしゃべり会

ワーク
1月28日(日)
11:00-17:00
おしゃべり会

2月23日(金・祝)
甲賀市で実施予定の
シンポジウムで発表

講師
マザーボード23期
滋賀県立甲賀高等学校 特別支援科 23期生
全期生

主催 認定NPO法人四つ葉のクローバー
後援 甲賀市立甲賀高等学校 特別支援科



みんなの
声
きかせて
シンポ
ジウム

2024年2月23日(金・祝)
13:30開演(13:00開場) 16:00終演
甲賀市まちづくり活動センター
「まるーむ」2階多目的室
成賀里甲賀市水口町水口6009-1

入場 無料
申込 不要
定員 200名

タイムテーブル

- アイスブレイク
- プログラム1-1 映画「On My Way」上映と感想
- 若者しくじり話の時間
- 質疑応答の時間
- 参加者特別 プレゼンテーション発表

講師
認定NPO法人四つ葉のクローバー
後援 甲賀市立甲賀高等学校 特別支援科



みんなの「こえ」をきかせてワーク第二弾

NPO法人子どもソーシャルワークセンター理事長の幸重忠孝さんを司会にお迎えし、子どもの頃しんどかった若者たちが、今しんどさを抱える小学生、中学生を応援する企画を行いました。

2024年1月26日 前夜祭

カレーライスでお腹を満たしたあとはアイスブレイクで自己紹介をし、「呼ばれたい名前」と「今はまっていること」を順に発表しました。その後のいろんな「こえ」をきかせてくれました。

「大丈夫？」と聞かれる言葉が嫌い

「大丈夫としか言えないやろ？相手に心配かけるだけやん」

「気持ちなんか聞いてほしくない。解決策だけ示してほしい」

「今日来たいなあ言ってたやつがいたんだけど電車賃がないから無理だった。

往復千円も近くかかるからお金ももったいない。その分で2日食べられるって」

1月28日 3日目

子どもソーシャルワークセンターの若者と四つ葉のクローバーの若者総勢20数名がそれぞれの「こえ」を聞かせてくれました。

今、しんどさを抱える子どもたちにエールを送るためにはどうしたらいいか？

逆にしんどさを抱える親たちには何を伝えればいいのか？

若者たちが言う。

「単に自分たちのしんどかった話を話すだけでは誰の心にも響かないの違う？かわいそうにで終わる話。

そこからどうした？どうしてここまで来れたか？親ではないけど助けてくれた人がいたからやろ？」

「どうすれば2月23日のシンポジウムに来てくれるお客さんに勇気を与えられるんだろう？しんどい子どもたちに

大丈夫！必ず未来はくる！と伝えられるだろうか？」

「子育てに疲れている保護者が来るかもしれん。その親たちに大丈夫ですよ、子どもはアホじゃない、

ちゃんとわかってますよと安心させてあげた方がいいんじゃない？」

「虐待もあってボロボロだけれど今は親のことはあんまり恨んでませんよ。叶うなら普通の仲の良い家族のもとに

生まれたかったけど。」

ニコッと静かに笑う若者とたちが今、生きているのは奇跡なのかもしれない。

シンポジウムで若者たちが伝えたい大切なこと

①胸が潰れそうになる悔しさや悲しさを抱えて生きる若者たちが来場者に勇気と優しさを与えること。

②来場者の皆様が「元気になった！がんばるぞ！」と認めてくださることこそが若者たちの自己肯定感、生きる希望となる。

2024年2月23日(金・祝)

満員御礼！大盛況！

1月末に3日間にわたってクローズ開催されたワークショップ

そこで集めた若者たちの「声」を届けるために甲賀市まちづくりセンターまるーむで開催された

みんなの声をきかせてシンポジウム。

「虐待」という重く、センシティブな内容が続きましたが会場の皆様も、若者たちもとても真剣な眼差しで聞いてくれました。

特定非営利活動法人子どもソーシャルワークセンター幸重忠孝さんをはじめ貴団体の若者の皆さん、四つ葉の卒業生や、よつばLABOに来てくださっている若者の皆さん本当にありがとうございました。

認定NPO法人四つ葉のクローバー設立10周年記念 CLOVER DREAM LIVE2023

2023年6月3日(土) 午後1時～午後4時 守山市民ホール 小ホールにて実施 来場者数:270名

- 第一部 基調講演 寮美千子氏
奈良少年刑務所 絵本と詩の教室で出会った子どもたち
「あふれでたのは やさしさだった」
- 第二部 音楽ライブ
出演者: 矢野ブラザーズ、Ryosuke Yamamoto、めぐみ、yokko、よつバンド

ご来場いただき
ありがとうございました♪



yokkoさんとスマイルキッズがコラボ。「シャイン!!」を披露してくださいました。

～ご来場いただいたみなさまの声～

「信じて待つ、導かなくても良い方向に向かっていく」という言葉を聞き、私も大切にしたいと思いました。

社会的養護がテーマで重なりがちですが、音楽によって全体を通してずっと入ってきました。

「やらずに後悔するより、やって失敗の方がいい」本当にそうだと思います。どんどん挑戦していきましょう。私も若者に負けないように挑戦して行こうと思いました。

会場みんなでひとつになることができてよかった。

真夜中のスケッチブック、涙が出ました。言葉と音楽の力を感じました。感動をありがとうございました。

歌調が深く、歌詞が深いメッセージが込められていて心に響きました。

卒業生のチャレンジとても良かった。ずっと応援しています。

矢野ブラザーズの美しい歌声とか力強いラブのメッセージ素晴らしいです!

勇気を与えるライブです

お越しいただきありがとうございました🍀

視察に来られました



内閣総理大臣補佐官の矢田稚子（わかこ）さんと秘書官の富安知翔さんがNPO法人四つ葉のクローバーの視察に来てくださいました。

まずは、シェアハウス夢コートの見学、そして、マザーボードに移動し、昨年から新たに始まった居場所支援事業であるよつばLABOへもお越しくださいました。

そこでは、こども家庭庁参与の辻由起子さんもお迎えして、若者の現在の「生きづらさ」に焦点を当て社会的養護の現状や今後改善して欲しい点などをお伝えさせていただきました。

また最後には、よつばLABOのアート企画で制作した貧困や虐待など、過酷な環境を生きてきた若者たちの姿を描いた自主映画「On My Way」をご視聴いただき「まだまだ社会的養護に関して知らない人が多い。彼らの声はもっと広く伝えていかなければならない」とのお言葉をいただきました。

暗く捉えられがちな「社会的養護」

今後は、そのイメージを払拭し一生懸命、勇気を出して思いを聴かせてくれた若者たちの声を広げ彼らが夢を描いて堂々と生きていける社会を目指していこうと改めて強く思いました。



官邸HPでも紹介して
くださいました

当法人公式Facebook投稿より引用



守山市福祉施設合同インターシップに開催に参加しました



フクシの仕事、丸わかり！

5施設合同 インターンシップ 開催！



高齢者福祉のゆいの里さん、児童福祉の守山学園さんとはすねだこども園さん、障がい者福祉のほたるの里さんと当法人の5施設が集まり合同インターシップを開催しました。年間を通して4回実施し、主に大学生を対象に各施設の説明や見学を行いました。

「児童養護施設は知っていたけど、自立援助ホームは初めて聞いた」「福祉でもいろんな分野があると知った」

「実際に施設を見て回ってよかった」などの声が上がっています。

若手職員と食事をしながらの座談会も企画されていて、リラックスした雰囲気ですぐに働く若手職員の声を聞くことができます。

2024年度も開催予定ですのでご興味のある方はぜひご参加ください。

多くのご支援ありがとうございます

寄付及び物品寄付

(敬称略、順不同)

夫一龍 岩本弘子 井上一子 高田三代子 吉田里美 森谷茂男 平野耕三 平野ゆかり 上里真春 上里清美 今井克己 松村睦子
小竹佑夏里 大橋恭代 國俊和子 川勝邦夫 宅間厚 山田真二 木村純代 曾我昭彦 米倉しげ美 間宮崇弘 吉田佐代子 山下弓
善野益次 土谷貞雄 竹中明子 藤井明德 大道有花 竹内かよ子 井之上千穂 寺田静枝 染谷清 糸数未希 青木和子 高橋謙二
奥村芳弘 キムチギャラリー西原茂光 降幡めぶき 三浦清忠 和久田道子 秋山怜史 秋山香 高田裕子 フードバンクびわこ
西村養鶏場 日本キリスト教団近江八幡協会 社会貢献支援財団 後藤奈美 神門ひろし 中村梨佳 杉田依嘉子 中山理恵 奥田彩
富田佳子 森恵子 福本裕 杉本かずみ 宇田さと子 松井孝夫 桑原寛 橋本麻衣 奥剛 藤原亮一 一般社団法人モンド 富永豊
新田紀之 倉橋春奈 小川章夫 小島恵美子 小野寺章 林武司 森永勝博 株式会社PAYFORWARD 阿万久美 奈美千子 島政勝
浦谷はるみ 西山晴美 玉置広実 増田由美 今村礼子 曾我佐登子 佐伯昌美 西山容代 三宅さかえ 株式会社エネイオット
市田茂広 市川悦久 川道純子 フードバンクしが 寺井良太 橋隆幸 SAMI 山田陽子 山田清宏 川那辺真理子

定期サポート

黒崎隆一 長野浅芳 竹中國弘 伊藤芳美 山寺香 山田真二 森田真菜 阿部修一 寺寫豊 中嶋光男 長淵正代 小泉なお子
國分麻理 中村一光 荒木恵美 高野朋子 島田幸子 小野寺美美子 須崎直人 西野毅郎 小谷由加里 降幡めぶき 佐藤幸恵
佐藤和歌子 岡本節子 岡本将宏 高田美奈 細谷卓爾 油藤商事株式会社 西川直治 西川典子 田中真稔 上岡正直 曾我昭彦
大西由紀子 山崎政浩 長山弘範 南美幸 中井智美 有限会社タイム・水谷昇 森垣ゆかり 松村美智子 山田容 株式会社R&P
新井豊 宮下明子 有限会社クエストセブン・南清章 三浦清忠 杉山健二 木村純代 平林博子 平中繁一 今岡陽子 岩原和恵
株式会社ケイヤマ商店 水野和幸 濱口裕美

一括サポート

広島HARTクリニック・向田哲規 株式会社吉澤ステーブル 公益財団法人平和堂財団 NPO法人しが生活支援者ネット
酒井征夫・酒井憲子 杉山健二

団体概要

【理事・正会員】

理事長 杉山真智子
理事 森本美絵 久保憲二 宮脇宏司 森重重則 小川泰江 伊藤五作 藤田健二 石見忠志 打田絹子
監事 上里清美 寺寫豊

正会員

寺寫京子 上里真春 夫一龍 山川芳志郎 平野耕三 平野ゆかり 松村睦子 山川勉 坂下真樹子 杉山健二 奥野眞弓
馬場善治 太田智真 小泉洋司 宅間厚 小野寺章 降幡めぶき 今井義定 新井英司 中井美幸 宮川啓子 嘉田由紀子
山田容 建部和伸 山口浩次 西山邦鋪 黒崎隆一 鈴木繁宏 平井壽一 山本剛 柴原明美 小川浩司 新井豊

団体正会員

中西医院・中西正喜 富田クリニック・富田耕彬 株式会社エフアイ・北野裕子 すぎやま内科・杉山健二
ひろたに医院・廣谷秀一 有限会社タイム・水谷昇 株式会社行動科学研究所・岩田洋治
元三フード株式会社・谷口剛 株式会社ウッドソレル・堀洋子 株式会社R&P・新井豊
株式会社大生産業・梅村忠生 たちいり小児科医院・立入利晴 EnglishAdventureAcademy大西由紀子

団体賛助会

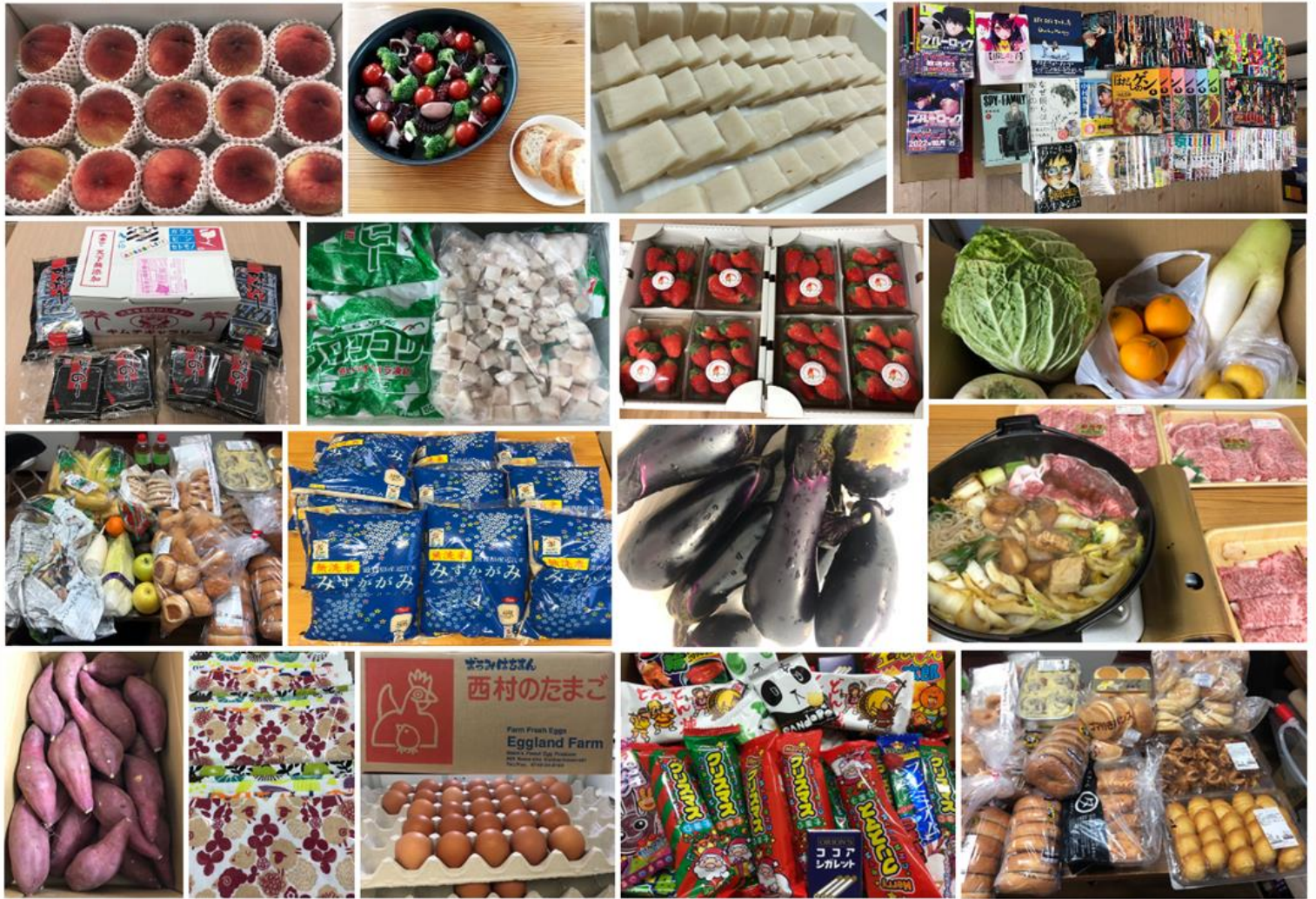
瀬田の唐橋総合事務所・森谷茂男 守山包装株式会社・野村宗幸 アルバ通信株式会社・柿添かおる
スターエンジニアリング株式会社・和田英幸

賛助会員

竹中佳子 岩見行浩 市川悦久 太田宜子 藤木達広 小島恵美子 宮口ルミ子 原田勢津子 伊香平和 石原愛子
井上まゆみ 山田登喜子 菱川祐子 西岡光春 中村吉昭 平岩真寿美 平山満紘 竹中明美 伊藤まさ美 黒坂真登
井口夕貴 川崎敏和 漢正史 大隅文枝 小川重和 尾崎佳世子 松山ふじ子 佐伯昌美 小牧一美
黒坂早由 松井秀樹 松井楓空 高田直樹 高田佑依 森永勝博 新田奈緒美 新田春空 竹中ますえ



ご寄付いただいた物の一部



大学に合格しました🎉

入所した当初は体調を崩すなどにより大学受験を考える余裕も無かったが、ホームでの安心な生活を積み重ねたことにより体調も安定し、本当に自分が学びたいと思うことを見つけ大学受験に挑戦することを決めました。おかげさまで無事に第一志望大学に合格し、春から大学に通うことになりました。不安な気持ちもあるみたいですが、楽しい気持ちも大切に大学生活を楽しんでもらえるようにスタッフと一緒にがんばります。

今回の受験において、
 一般社団法人ゆめさぼ様 進学応援プロジェクト
 一般社団法人篠原欣子記念財団様 社会的養護施設助成
 より助成をいただきました。
 本当にありがとうございました。



スーツを購入させていただきました👔

今年度で高等学校を卒業し、春から就職する者、進学する者が夢コートには3名います。応援して下さっている皆様からいただいたみらい基金を活用しスーツを購入させていただきました。3年間着続けた制服も卒業。真新しいスーツに身を包んだ彼らは大人びて見えます。職場やキャンパスという新しい場所、そこでの新しい出会いでさらに人生を豊かにしてほしいです。ご寄付いただきまして本当にありがとうございました。

寄付旅行で北海道に行きました🌊

初めての北海道旅行。スタッフとふたりで2泊3日の旅でした。おいしいものを食べて、初めてのところに行って動物園にも行って餌やりもしました。「北海道で食べた海鮮がほんまにうまかった！」とうれしそうに話していました。「旅は自分の世界を広げます」寄付をくださり、若者に世界を広げるチャンスをくださった鈴木様、本当にありがとうございました。



みらい基金 寄付のお願い

「親元で生活できない」「金銭的な援助が見込めない」など、経済的理由で将来の選択肢を諦めてしまわないために、四つ葉のクローバーを利用する若者の未来を応援する基金として設立しました。



ご協力お願いいたします



進学の学費
進学に必要な物品購入
などの一部

スーツ購入
各種資格取得受験料
などの一部



教科書・PC
などの教材



各ホームで使う家電
購入費用の一部など

これらの一部に使わせていただいています

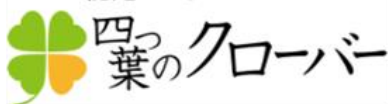
<手続き方法>

下のQRコードから支援サイトに
アクセスいただけます。
支援サイトでは1口1,000円から金額を
お選びいただけます。
銀行口座から毎月引き落としをご希望の方は
当法人へお問い合わせください。
銀行振込をご希望の方は下記口座までお願いいたしま
す。

滋賀銀行 守山北支店 普通
口座番号 543754
口座名称 四つ葉のクローバーみらい基金
カナ表示 ヨツバノクローバーミライキン



認定NPO法人



発行：2024年4月

編集：認定NPO法人 四つ葉のクローバー

所在地：滋賀県守山市守山2丁目15-25夢コート

電話：077-584-5688 または 080-6160-4280

URL：<http://yotubanokuroba2013.com/>

e-mail：yotuba2013@gaea.ocn.ne.jp

四つ葉のクローバー
公式Instagram



@YOTUBA1989